

第 157 号

Björk

—ビヨルク(白樺)—



12月10日（土）に開催したルシアコンサートのようす。例年おこなっていたルシア祭に代わり、今回はビヨン・アルコ氏と新原草太氏のデュオによるジャズコンサートと、スウェーデンの楽器「ブンネ楽器」を使ったコンサートをおこないました（関連記事11ページ）。

ペールエリック・ヘーゲベリ駐日スウェーデン大使 年頭メッセージ	2
寄稿「スウェーデン～私の音楽修行とスウェーデン歌曲～」 北海道教育大学岩見沢校 準教授 大久保 光哉	8
S C F レポート「S C F クリスマスイベント報告」	11
寄稿「国際交流から地方創生へ」 東近江市役所 職員 竹内 清臣	12

一般財団法人スウェーデン交流センター（理事長 内野 貢）

〒061-3777 北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ2329-25

<http://www.swedishcenter.or.jp/> e-mail : info@swedishcenter.or.jp

TEL 0133-26-2360 FAX 0133-26-2992

ペールエリック・ヘーグベリ 駐日スウェーデン大使
年頭ごあいさつ

*The new year message from
Mr. Pereric Högberg, Ambassador*



Dear friends in Hokkaido and Japan!

Now both Sweden and Japan have open borders, allowing families and friends to finally reunite. Since October, we have a new government in Sweden that I am sure will keep prioritizing the already strong Japanese-Swedish relations onwards. Even if the last year has been good in many ways, it has also been marked by setbacks. Russia's invasion of Ukraine has affected the whole world and shaped a new global landscape. Hence, cooperation between likeminded countries is perhaps more important than ever. I am grateful that Japan and Sweden stand for Ukraine, democracy, and peace. Furthermore, the Swedish NATO-application is a crucial course of action in the pursuit of increased security and a rule-based world order.

In 2022, as the impact of the pandemic decreased, the Embassy entered into a more active phase. With economic, scientific, and cultural exchanges between Japan and Sweden, we have a lot to be proud of from the past year. Many Swedish artists and musicians have participated in exhibitions and concerts in Japan, starting new collaborations that will benefit cultural life in both countries. Several Japanese publishers went to Stockholm to learn more about the Swedish children's book traditions and market. At the Mirai Research Week 21 of Sweden's and Japan's top universities shared the results of their collaborations. On the 50th anniversary of the Stockholm Environment Conference in 1972, more than one hundred young activists gathered at the Embassy to discuss aspects of the seminal question of our time: climate change.

In addition, I also take with me memories of different travels I made, not least my trip to Hokkaido, Tobetsu and the Swedish Center Foundation in November. There I had many fruitful meetings and interesting conversations. I now have a better understanding of the scope of SCF's contributions to the Japanese-Swedish relations.

Now I am excited to see what 2023 has to offer in terms of Japan-Sweden cooperation.
I wish everyone a peaceful, safe, and Happy New Year!

Pereric Högberg

親愛なる日本、そして北海道の皆さんへ

2019年から長きにわたって続いている新型コロナウイルスによる入国制限が日本とスウェーデン両国で緩和され、互いの国にいる家族や友人と再会できるようになりました。スウェーデンでは昨年10月、総選挙を経て新しい政府が樹立し、これまで以上に日本とスウェーデンの関係を強固なものにしていってくれると信じています。昨年世界では様々な分野で良いことがありました。同時に挫折も経験しました。2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は世界に大きな影響を及ぼし、これにより新たな国際関係が形作られることとなりました。このことは、友好関係をもつ国どうしがお互いに手を取り合い、協力し合うことがこれまで以上に重要になってくることを意味しているのかも知れません。そのような中で、日本とスウェーデンがウクライナのため、民主主義のため、平和のためにともに手を携えているということを私は嬉しく思っています。何よりスウェーデンは、法に基づく国際秩序を追及していくために、これまで長い間続けてきた政治的中立から、NATO加盟に大きく舵を切りました。このことは非常に大きな決断と言えるでしょう。

2022年、新型コロナウイルスパンデミックの影響が小さくなるにつれ、大使館もより精力的に活動に取り組んできました。昨年一年間で経済、文化、科学など、様々な分野で日本とスウェーデンの交流がなされたことは、我々としてもとても誇らしいことです。昨年は多くのスウェーデン人アーティストやミュージシャンが来日し、展示会やコンサートをおこないました。その中で生み出された新たなコラボレーションは、両国の文化にとって大きな財産となることでしょう。また、学術分野では、11月に開催された MIRAI 2.0 R&I (Reserach and Innovation) Week 2022において、日本とスウェーデン両国からトップレベルの大学が集まり、その研究成果を共有しました。そして1972年にストックホルムで開催された国連人間環境会議から50周年となった2022年は、100人を超える若き活動家らが大使館に集い、気候変動という今日の課題で積極的な議論と意見交換がなされました。

11月、新型コロナウイルスのパンデミックの影響もありこれまで訪問が叶わなかった北海道当別町、そしてスウェーデン交流センターに伺うことができたことは記憶に新しく、訪問した各地で実り多い出会いと、非常に有意義な話し合いを行うことができました。そして、今回この北海道訪問に尽力してくれたスウェーデン交流センターがこれまで日本とスウェーデンの友好親善のために尽力してきたことに思いを寄せ、理解を深めることができたことを嬉しく思っています。2023年日本とスウェーデンが手を取り合い、そして成し遂げていく多くの物事に、今からとても心躍ります。

皆さんにとって実り多く、幸多い一年となりますよう。

ペールエリック・ヘーゲベリ



Copyrights 2023 スウェーデン大使館 Embassy of Sweden

謹 賀 新 年

旧年中は当財団の事業運営に格別のご支援を賜り、
心より御礼申し上げます。

本年も旧年に変わりませず、一層のご厚誼、ご指導を
賜りますようお願い申し上げます。

2023年1月1日

一般財団法人スウェーデン交流センター
理事長 内野貢
専務理事 南出耕一

一般財団法人 スウェーデン交流センター 役員

【顧問】	ペールエリック・ヘーグベリ 鈴木直道	秋元克広	後藤正洋
【評議員】	居林次雄 樋口達夫 安田光春	川崎一彦 山田明	堀達也 齋藤英男
【理事長】	内野貢		
【専務理事】	南出耕一		
【理事】	杉本拓 高野瑞洋	浅香正博	竹花賢一
【監事】	阿部勝義		

スウェーデン大使館 大使 ペールエリック・ヘーグベリ

公使参事官	レーナ・フォン・シドー	科学・イノベーション部
政治部 一等書記官	ヨハン・フルトクイスト	科学・イノベーション参事官
経済貿易部 一等書記官	グスタフ・ヴィーンストランド	マツ・パーソン
広報部 広報・文化担当官	アダム・ベイエ	商務部
領事・管理部 一等書記官	グルバチン・ケーセル	商務参事官
防衛部 駐在武官	ペーテル・ファグレル	カシュテン・グロンブロード

謹 賀 新 年

旭川スウェーデン協会
会長

東郷明子

北海道スウェーデン協会
理事長
〒〇七〇一〇〇三〇
旭川市宮下通四丁目番十一号七〇五
電話(〇一六〇)五〇〇一〇

横山 隆

当別・レクサンド都市交流協会
会長
〒〇六二一〇九一
札幌市豊平区旭町三一―七
電話(〇二二)八三七一八四一
電話(〇一)八三七一八四一
FAX(〇二三)一三一五七〇

山田 明

石狩郡当別町二四八番地
電話(〇二三)二三一二四四七
FAX(〇二三)一三一五七〇

当別町

北欧の風を感じるまち
〒〇六一―〇二二六
石狩郡当別町白樺町五八番地九

公益社団法人
北海道国際交流・協力総合センター
(HIECC/ハイエック)
会長
〒〇六〇一〇〇三
札幌市中央区北三条西七丁目
(道厅別館十二階)

中橋光男

株式会社 トーモタ
代表取締役
〒〇六一〇〇〇五
東京都千代田区丸の内二二二二
丸の内三井ビル
電話(〇三)三二一三一六八一一

内野貢

株式会社ホクヨー
代表取締役社長
〒一〇一〇〇四七
東京都千代田区
内神田二丁目一五番一一号
翔和神田ビル四階
電話(〇三)五二九八一五六三二

森川唯志

森川綜合紙器株式会社
代表取締役
〒〇七九一八四一
旭川市永山一条二丁目一一二一
電話(〇二六〇)四八一四一九一

小島敏之

株式会社スウェーデンハウスマリフォーム
代表取締役社長
〒二二一〇〇六三
神奈川県川崎市中原区小杉町一四〇三
武藏小杉STMビル五階
電話(〇四四)七一一一四五八

古坐登志雄

株式会社トーワン
代表取締役
埼玉県さいたま市大宮区
土手町一丁目四九番八号
G.M.大宮ビル八階
電話(〇四八)六四七一三三八一

岡本良夫

大一コンテナー株式会社
代表取締役
〒四二七一〇一〇三
静岡県島田市中河一〇〇一
電話(〇五四七)三八一一二三五

山本徹

新空調エンジニアリング株式会社
代表取締役
〒〇〇二一〇八五四
札幌市北区屯田四条三丁目
五番二〇〇号
電話(〇一)八〇四一七七七八
伊藤組土建株式会社
代表取締役
〒四七一〇〇〇六
小樽市有幌町二番二六号
電話(〇一三四)二五五一五〇一

大谷正則

伊藤組土建株式会社
代表取締役
〒〇〇二一〇九一三
札幌市北区新川三条六丁目一一番二十四号
電話(〇一)八〇四一七七七八
電話(〇一)七七三一九〇八〇

太田吉四郎

株式会社 ダンネツ
代表取締役会長
(本社)
〒〇〇一一〇九一三
札幌市北区新川三条六丁目一一番二十四号
電話(〇一)八〇四一七七七八
関東支店 埼玉県加須市久下二丁目六一十三

関本七重

株式会社 ベルディ
代表取締役
〒〇〇一一〇九一三
札幌市北区新川三条六丁目一一番二十四号
電話(〇一)八〇四一七七七八
電話(〇一)六一九一九一五一

津田康行

株式会社 オールシーザン
代表取締役
〒〇〇一八五五四
札幌市中央区北四条西四丁目一一番地
電話(〇一)二四一五四八六

山内朝友

社会保険労務士法人 札幌労務管理
代表社員
〒〇七〇一八〇四五
旭川市忠和五条四丁目九一一七
電話(〇一)六一五五五六一九一五一

上田邦也

株式会社 プライムトラス
代表取締役社長
〒一三五一〇〇四二
東京都江東区木場二丁目一五番二号
電話(〇三)三六四三一三三一〇代
MAビル二階

山田豊

株式会社 大栄建工株式会社
代表取締役
〒〇六一〇二二六
石狩郡当別町錦町三五一番地
電話(〇一三三)二三一〇三三

村井秀壽

株式会社 ワコ一
代表取締役
〒〇六一〇〇三三
札幌市中央区北三条東二丁目一五
電話(〇一)二四一五四八六

井上光男

株式会社 第4須賀ビル五階
代表取締役
〒一六〇一〇〇四四
東京都新宿区四谷三一
電話(〇三)三三五五一四七八九

山田豊

株式会社 大栄建工株式会社
代表取締役
〒〇六一〇二二六
石狩郡当別町錦町三五一番地
電話(〇一三三)二三一〇三三

村井秀壽

株式会社 ワコ一
代表取締役
〒一三五一〇〇四二
東京都江東区木場二丁目一五番二号
電話(〇三)三六四三一三三一〇代
MAビル二階

井上光男

株式会社 第4須賀ビル五階
代表取締役
〒一六〇一〇〇四四
東京都新宿区四谷三一
電話(〇三)三三五五一四七八九

山田豊

株式会社 大栄建工株式会社
代表取締役
〒〇六一〇二二六
石狩郡当別町錦町三五一番地
電話(〇一三三)二三一〇三三

新 賀 年

森永エンジニアリング株式会社
代表取締役社長

駒井 賢二

ヤクシン開発株式会社
代表取締役

安川 隆

株式会社 中川
代表取締役

新井 孝

株式会社トーションパッケージ
代表取締役社長

北海運輸株式会社
代表取締役社長

福沢 優

〒二〇八一〇〇七五
東京都港区港南三一八一
住友不動産品川港南ビル
電話(〇三)五七九六一九八〇〇

株式会社 ホリカワ
代表取締役会長

堀川昭雄

株式会社 ホリカワ
代表取締役会長

年

〒二〇四九一〇〇一〇一
北海道北斗市追分三丁目三番二〇三
電話(〇一三八)四八一〇六七八
FAX(〇一三八)四八一八五八三

株式会社 北洋交易
代表取締役社長

小島敏之

〒二一一一〇〇六三
神奈川県川崎市中原区小杉町一四〇三
武藏小杉STMビル七階
電話(〇四四七一一四四八〇

株式会社 サン・クリーク
代表取締役

小川将紀

〒〇〇一一〇〇二九
札幌市北区北二九条西二二丁目一三
電話(〇二一)七五八一六八二〇

辻野建設工業株式会社
代表取締役

辻野 浩

福岡県北九州市八幡西区大字野面
一六八番一
電話(〇九三)六一八一六六二七

小西工業株式会社
代表取締役社長

堰代稔大

小西工業株式会社
代表取締役社長

森山雅明

〒〇九〇一〇〇二五
北見市北五条東三丁目一番地
電話(〇二五七)二三一六二二七八

メータス株式会社
代表取締役

株式会社 ワーク・サービス
代表取締役社長

武田卓也

〒三〇一一〇〇一九
茨城県守谷市御所ヶ丘二一〇一
電話(〇二九七)五五一六六二一

株式会社 長領設備工業
代表取締役

中畑譲司

株式会社 古賀住設
代表取締役

古賀恭治

株式会社 古賀住設
代表取締役

椎谷敏行

〒八三九一〇八〇九
福岡県久留米市東合川五丁目
六番二九号
電話(〇九四二)四四一八八八〇

株式会社 椎谷建設
代表取締役

株式会社 関東トーレン
代表取締役
社長執行役員

酒井美徳

〒二五三一〇二一三
神奈川県高座郡寒川町大曲一五一三
電話(〇四六七)七四一六〇二三

株式会社 十勝パッケージ
代表取締役社長

井上光男

アートルーフ工業株式会社
代表取締役

糸田直樹

アートルーフ工業株式会社
代表取締役

鶴田敬

〒〇〇七一〇八六八
札幌市東区伏古八条二丁目
四番六号
電話(〇九七五五六九一八八八〇

有限会社 たきお水道
代表取締役

中西印刷株式会社
代表取締役

林下英二

〒〇〇七一〇八二三
札幌市東区大通三丁目一三
電話(〇二)七八一七五〇一

北新マテリアル株式会社
代表取締役社長

長瀬真一郎

札幌市中央区北三条西四丁目一
日本生命ビル十六階
電話(〇一)二四一五二八一
FAX(〇一)二三一五〇九九

岡田尚一郎

美樹工業株式会社
代表取締役

工藤栄三

〒六七一〇九四七
兵庫県姫路市北条九五二番地一
電話(〇一)五三〇一〇九一〇

株式会社 昭和工務店
代表取締役

株式会社 昭和工務店
代表取締役社長

北嶋英明

〒五三四一〇〇二七
大阪市都島区南一九条西六丁目一
電話(〇二)六九一八一八八二二

越智建設株式会社
代表取締役社長

大宮昇

北海運輸株式会社
代表取締役社長

福沢 優

札幌市中央区北三条西四丁目一
日本生命ビル十六階
電話(〇一)二四一五二八一
FAX(〇一)二三一五〇九九

岡田尚一郎

美樹工業株式会社
代表取締役

工藤栄三

〒六七一〇九四七
兵庫県姫路市北条九五二番地一
電話(〇一)五三〇一〇九一〇

株式会社 昭和工務店
代表取締役

株式会社 昭和工務店
代表取締役社長

北嶋英明

〒五三四一〇〇二七
大阪市都島区南一九条西六丁目一
電話(〇二)六九一八一八八二二

越智建設株式会社
代表取締役社長

大宮昇

北海運輸株式会社
代表取締役社長

福沢 優

新年謹賀

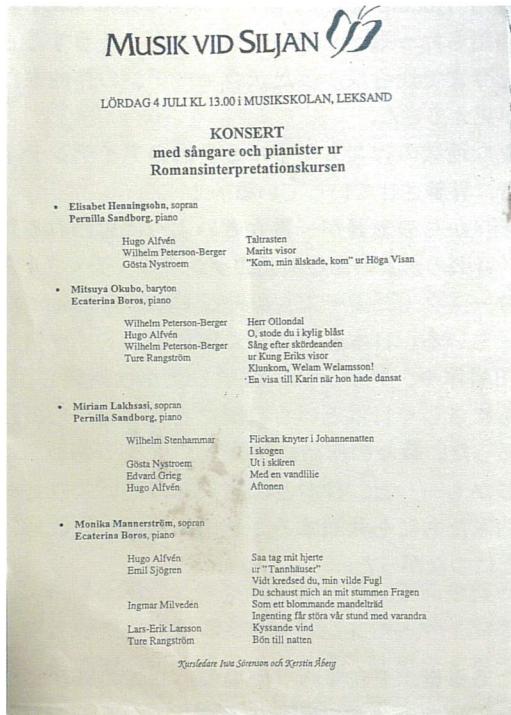
<p>古 谷 陽 一</p> <p>〒〇六一—〇二三三 当別町弥生一〇九一 田西会館内 電話(〇二三三)二二一〇五七五</p> <p>スウェーデンヒルズゴルフ俱楽部 理事長</p>
<p>齊 藤 英 男</p> <p>〒〇六一—三七七七 北海道石狩郡当別町スウェーデンヒルズ 代表取締役</p> <p>日本東海インダストリアル ペーパーサプライ株式会社 代表取締役社長</p>
<p>武 藤 悟</p> <p>〒一〇一—〇〇六二 東京都千代田区神田駿河台四一六 御茶ノ水ソラシティ九階 電話(〇三)六六六五一五〇一六</p>
<p>小 林 正 人</p> <p>〒〇六一—一一六四 北広島市輪厚七十番地二 電話(〇一)三七七一六三六六 FAX(〇一)三七七一六三八九</p> <p>富士ホームエナジー株式会社 代表取締役社長</p>
<p>浅 井 裕 治</p> <p>〒二二五一〇〇一一 神奈川県横浜市青葉区あさみ野 二一八一五 電話(〇四五)九〇一一五〇三一代</p> <p>有限会社 浅井電気工業社 代表取締役</p>
<p>神 林 章 二</p> <p>〒〇六〇一〇〇〇九 札幌市中央区北九条西十八丁目一六 電話(〇一)六三二一一二三二</p>
<p>宮 永 雅 己</p> <p>〒〇六一—〇二二六 石狩郡当別町栄町八一九番地 電話(〇一三三)二三一四五五六七</p>
<p>南 出 明 人</p> <p>〒六〇七一八二三五 京都市山科区勧修寺西北出町二五番地 電話(〇七五)五九二一八五〇〇</p> <p>株式会社 新晃建設 代表取締役</p>
<p>根 建 修</p> <p>〒〇六一—〇〇五一 札幌市豊平区月寒東一条一八丁目 一番三六号 電話(〇一)八五五一七四〇〇</p>
<p>栗 原 由 行</p> <p>〒九八九一—二四二一 宮城県岩沼市下野郷字新田一八〇 電話(〇三三)二四一三三二一四〇四一</p>
<p>廣瀬 正 二</p> <p>〒四八五一〇〇一一 愛知県小牧市大字岩崎六八〇番地 電話(〇五六八)七三一三七三八</p> <p>熱田紙器株式会社 代表取締役社長</p>
<p>宮 坂 朋 純</p> <p>〒九八九一—二四二一 宮城県岩沼市下野郷字新田一八〇 電話(〇三三)二四一三三二一四〇四一</p>
<p>本 間 三 男</p> <p>〒四六〇一〇〇一 愛知県名古屋市中区丸の内一丁目 一七番二号第一四Kビル 電話(〇五二)二一一一〇三〇</p>
<p>馬 場 英 幸</p> <p>〒三五一—一〇〇三五 埼玉県新座市栗原三丁目七番二十九号 電話(〇四二)四三一〇二三五四</p>
<p>山 根 学</p> <p>〒〇六一—一三三四一 石狩市新港中央二丁目七五五番地五 電話(〇一三三)六四一五五〇七</p>
<p>岩 本 悟</p> <p>〒二三一—〇〇二四 横浜市南区浦町五十七 電話(〇四五)二五三一七二六六</p>
<p>田 沼 壮 一</p> <p>〒九八九一—二四二一 宮城県岩沼市下野郷字新田一八〇 電話(〇三三)二四一三三二一四〇四一</p>
<p>黒 岩 尚 志</p> <p>〒六五一—二二二四二一 兵庫県神戸市西区井吹台東町七一四一 電話(〇七八)九九二一〇五五五</p>



まずは買い物に行くため、自転車をみんなでレンタル、自然の中を走る爽快感…最高だ！

ある朝、起きると台所にタオル1枚の女性…。私が驚くと、問題ないと反応…。また、「日本での第二母語はなに？」と訊かれ、私の頭は？マーク…。スウェーデン人にとって英語は第二の母語（第二言語）のような扱いのこと。カウンターパンチをくらった感じだ。

日本はある意味、自国内にてすべてが完了可能、まわりは海であり、基本、日本語ですべてをまかうことができる。それに反してスウェーデンは他のヨーロッパ諸国と陸続きであり、アメリカへ多数のスウェーデン人が移植した歴史もある。感覚が違うのだ。



修了演奏会プログラム

それにしても、なんと素晴らしい音楽祭であったことか。緑と光にあふれたオープニングの日、民族衣装に身を包んだ人たちが川を複数の小舟でアルヴェーン邸にやってくる。その小舟には主催者と民族音楽を奏てるフィオール奏者…。川から関係者がアルヴェーン邸の庭に到着、この音楽祭が始まった。そこに流れるスウェーデンという国のアイデンティティと様々な感動が、私を魅了した。

自分たちの歴史と文化に対する誇りと愛を感じた。民族音楽とクラシック、音楽のジャンルは異なっても、それは一つのものなのだ。

アルヴェーンという民族ロマン主義の作曲家の存在が、そしてスウェーデン人の心のふるさとと称されるダーラナという地域がそうさせるのか…民族音楽とクラシック音楽が同じ場で共存する音楽祭。日本では考えられないことだ。しかしながら異なる音楽のジャンル、それはスタイルこそ違っても、音を使って表現することに変わりないはずだ。あらためて音楽とは何かと自分自身に問うきっかけとなった。

山田耕作の小唄・長唄風の歌曲など、明治時代から日本でも自分たちの伝統音楽を積極的に取り入れてきたではないか、それを再現者としての演奏者は十分に咀嚼し演奏に活かしているのか…この音楽祭が、私にとって日本の伝統文化への興味、研究へと今まで以上に向かわせることになった。日本を離れたからこそ、より実感したのである。ある意味、日本もスウェーデンもクラシック音楽の後進国（否定的意味ではない、ヨーロッパのクラシック音楽の移入という側面から）である。しかし、この音楽祭でこの二つの国における音楽の捉え方に関して大きな差異を感じたのである。

* * * * *

様々なことを考えさせてくれたスウェーデンでの音楽修行。帰国後、機会を見つけてはスウェーデン歌曲を日本のみなさんに聴いていただいた。もちろんお客様にとってスウェーデン語は馴染みの薄い未知の言語。内容解説をはきながらの演奏をすることで楽しんでいただいている。考えてみると、たとえ有名な作品であったとしても、イタリア語であれドイツ語であれ、いったいどのくらいの人が歌詞内容を瞬時に把握できるであろうか。ほとんどいないであろう。となればスウェーデン語であってもいいはずだ。スウェーデン語とそれに付けられた美しいメロディーと音、解説を通してそれを楽しんでもらいたい。

昨年9月にはアルヴェーンのメモリアルイヤーとして歌曲をまとめて紹介した。ペッテション=ベリエルの歌曲のみのサロンコンサートを企画したこともある。今では、歌としてのスウェーデン語を研修したことで、セベリウスやグリーグの歌曲も演奏している。北海道出身の私にとって、これら北欧、特にスウェーデン音楽の空気感は共感できる。これからも歌い続けたい。そして教育の現場においても積極的に紹介していきたい。

敬愛するヤン・エイロン先生は既に鬼籍に入ってしまった。先生は「日本でスウェーデン歌曲を歌う際、少しオーバーでも構わないから表現を大きく演奏して」と言われた。そうなんです！ 作品一演奏一聴衆の三者の在り方は場所や時代で変わるので。こうあらねばならない、これがスタイルだ…そこから日本人はもっと解放されてもいいですよね！ 先生！

おおくぼ みつや ご寄稿者紹介… 大久保 光哉



北海道白糠町出身。声楽家（バリトン）、合唱指揮者、音楽学者、舞台演出家、演奏会プロデューサー。北海道銀行勤務を経て、東京芸術大学大学院後期博士課程修了。文化庁オペラ研修所第10期生修了。1997年度文化庁在外派遣研修員としてスウェーデンへ留学。現在北海道教育大学岩見沢校准教授。大久保 北叟（おおくぼ ほくそう）の雅号をもつ書家としても活躍している。

SCF クリスマスイベント報告

北海道の新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せ始めた11月下旬、SCFでも恒例のSCFユールフェアを開催しました。今回は中庭のツリーイルミネーションを一新して、館内のツリーを増やすなど、より華やかな雰囲気になりました。



中庭のイルミネーションはもちろん青と黄色のスウェーデンカラー。夕方16時～19時過ぎくらいまで楽しめます。



昨年から始めて好評だったユールカレンテルも設置しました。SNSでも毎日更新して、その日のトピックをご覧いただけます。



ツリーは1階と2階にそれぞれ設置。スウェーデンの飾りをつけて、北欧風にアレンジ。

Julpyssel ~ユールピュッセル~

11月末からは毎週末スウェーデンのクリスマス「ユール」の雰囲気を楽しんでいただけるイベントを企画。11月27日～12月18日まで3回おこなった「Julpyssel“ユールピュッセル”」の工作体験会には、毎回参加者が定員いっぱいになり、みなさん素敵なクリスマスの飾りを作りました。



“Pyssel(ピュッセル)”とは“Puzzle(パズル)”の意。こんな複雑な形の星飾り作りに挑戦しました。

計3回の体験会は毎回定員いっぱいになり、みんな一生懸命に作っていました。

ガラスマーケット

12月9日～11日の3日間、毎年恒例のガラスマーケットを開催し、こちらも連日多くの方にお越しいただきました。中には袋いっぶぱいに買っていただいた方もおり、大好評でした。



Bunne & Lucia konsert ブンネ・ワークショップ & ルシアコンサート



葉音-HAON-のお二人はスウェーデンのクリスマスソングのジャズアレンジも聴かせてくれました。



聴くだけではなく、みんなで演奏して音楽を楽しむ。「私って、いいね。」こう思えることが大切です。

12月9日～11日の3日間、東京のブンネ・ジャパン株式会社にご協力いただき、スウェーデンで開発されたインクルーシブな楽器「ブンネ楽器」を体験してもらうワークショップと、ブンネ楽器を使ってみんなで演奏するルシアコンサートを開催しました。コンサートにはスウェーデン人サックス奏者のピヨーン・アルコ氏とギタリストの新原草太氏によるデュオ「葉音-HAON-」も出演してくださいり、素敵なジャズの音色を聴かせてくれました。

SCF がある当別町をはじめ、日本国内にはスウェーデンの自治体と姉妹都市の関係を結んでいる自治体が各地に存在しています。今回はその自治体の中から、当別町と縁深いレクサンド市すぐ近くにあるレトビック市と姉妹都市交流を行っている滋賀県東近江市の交流の取り組みについて、ご担当の竹内清臣様にご寄稿いただきました。

寄稿

国際交流から 地方創生へ

東近江市役所 職員 竹内 清臣



皆様はじめまして、東近江市役所湖東支所の竹内清臣と申します。今回は、スウェーデン交流センター様からご依頼いただいて、当市とのスウェーデンのつながり「ヘムスロイド村開村 30 周年記念事業」について、お話ししたいと思います。



まず東近江市をご紹介したいと思います。当市は滋賀県の東部に位置していて、西は鈴鹿山脈から東は琵琶湖に面しています。面積は 388.37 m²で、およそ滋賀県全体の面積の 10% を占めています。人口は令和 4 年 10 月 1 日現在で 112,718 人です。長年日本とスウェーデンの交流に尽力されている東海大学名誉教授の川崎一彦先生の出身地でもあります。

スウェーデンとのつながりは、旧湖東町時代の平成 6 年に、ダーラナ県のレトビック市と姉妹都市提携を結んでおり、当別町と同じく、日本に 4 市町しかないスウェーデンの自治体と姉妹都市提携を結んでいる自治体のひとつです。平成 17 年に旧湖東町は旧八日市市などと合併して、現在の東近江市となりましたが、レトビック市との姉妹都市提携は継続されました。

こうへムスロイド村の開村

その姉妹都市提携のきっかけとなったのは、平成 4 年に開村した「こうへムスロイド村（以下ヘムスロイド村）」です。ヘムスロイド村は、地域の芸術文化の発信拠点と地域の交流の場を図って建てられました。ダーラナ地方の「ヘムスロイド（家庭の手工芸）」をヒントにして、北欧風の工房 4 棟と交流用の 1 棟を備える施設として整備されました。その後、市町合併後の平成 24 年に「こうへムスロイド村条例」が廃止され、市からヘムスロイド村評議会に無償貸与されています。現在では評議会の運営のもと、5 組 6 人の作家とカフェを運営する 1 組が活動しています。

このヘムスロイド村では、年に一度「ヘムスロイドの

杜まつり」が開催されます。全国から手工芸作家がヘムスロイド村に集まり、滋賀県内最大規模のクラフトフェアが開催されます。2 日間開催されるこのまつりは、コロナ前には来場者数が 1 万人を超えた大きなイベントで、県外からも観光客が訪れる当市を代表するイベントとなっています。



ヘムスロイドの杜まつりの様子

平成 3 年に旧湖東町では、「工芸と交流の里構想」が策定され、地域文化と地域間交流の向上を目指し、伝統技術と流入技術の交流を通して新しい工芸品の創出と技術のストック、工芸家と地域住民との交流による住民文化の向上をコンセプトとしています。この構想の具体的な事業として、ヘムスロイド村が建設されました。



ヘムスロイド村の外観

さて、当市とレトビック市、スウェーデンとのつながりの歴史についてお話ししたいと思います。工芸と交流の里構想をスウェーデンのヘムスロイドに求めています。

ダーラナ地方がスウェーデンの木工文化の中心地であるように、当市は日本の木工文化の源流たる「木地師（きじし）」発祥の地でもあります。木地師とは、広葉樹の木を伐採し、「ろくろ」と呼ばれる回転する工具を使って、お盆やお椀、コケシなどを作る職人のことを言います。当市の奥永源寺地区は、木地師発祥の地であり、また湖東地区にも木地師の流れを汲む、「匠の郷」と呼ばれる大工や木工職人が住む集落があります。

当初はヘムスロイド村の作家と、地域の木工職人とが交流することで新たな文化の創造を図っていました。ヘムスロイド村には、地域の大工から贈られた木製の小屋があります。

また、木工のつながりでは、レトビック市からログハウスが寄贈されています。ヘムスロイド村からほど近い、「クレフィール湖東」という宿泊研修施設に、「シリアン」という名前のログハウスがあります。これはレトビック市からいらっしゃった大工によって建てられたもので、このログハウスには1日1組限定で宿泊することができます。また、昨年スウェーデン大使館のレーナ・フォン・シドー公使が当市を訪れた際には、このログハウスを見学していただきました。



レトビック市から贈られたログハウス「シリアン」を視察するシドー公使

平成6年の旧湖東町とレトビック市の姉妹都市提携には、当別町とレクサンド市をつながれた八幡敬子さんに、御尽力いただきました。レトビック市がシリアン湖の東部にあるように、旧湖東町は琵琶湖の東側にあることも提携の理由の一つにあったそうです。

平成3年10月には、海外交流団がダーラナ地方に派遣され、工芸を中心とした文化視察を行っています。その後数年間毎年、レトビック市を中心としたヘムスロイド施設を視察しています。平成6年10月には、レトビック市で行われた世界民族舞踏祭に、旧湖東町から参加しています。世界民族舞踏祭では、湖東地区は60年に一度行われる地域の祭りである「ドケ祭り」を披露しています。そして同年11月には当時のレトビック議長が旧湖東町にお越しになられ、姉妹都市提携が調印されました。

当初は両市の代表者などによる往来がありましたが、

平成17年に旧湖東町が旧八日市市などと合併したことにより東近江市となって以降、年々交流が下火になっていました。また、来たる令和6年に迎えるレトビック市との姉妹都市提携30周年に向けて再活性化に向けた動きを始めた矢先、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが影響し、再活性化に向けた動きは一時中断する形になってしまいました。

ヘムスロイド村開村 30周年記念事業にむけて

しかし、令和4年にヘムスロイド村が開村30周年を迎えるにあたり、地域住民が中心となって、「ヘムスロイド村開村30周年記念事業実行委員会」が設立されました。この実行委員会では、ヘムスロイド村の開村30周年を祝うにあたり、(一財)自治体国際化協会にご協力いただき、市民と村作家の交流、スウェーデン文化の発信をするため事業をしています。また、令和6年に迎える姉妹都市提携30周年の機運を高める活動をしています。

それでは本事業について説明したいと思います。はじめに、令和4年4月30日から8月30日まで、西堀榮三郎記念探検の殿堂（博物館）でヘムスロイド村開村30周年記念展「ヘムスロイドのある暮らし」を開催しました。本展では、ヘムスロイド村の作家と作品を紹介するだけではなく、レトビック市からの寄贈品を展示して、当市とレトビック市との姉妹都市提携を知っていただく場ともなりました。



東近江市湖東支所に保管されているレトビックからの品々

7月31日（日）には、ヘムスロイド村作家の工房を一斉に開放し、各工房作家によるワークショップイベントを開催しました。当日は炎天下のとても暑い中でしたが、市民はもちろんのこと、近隣自治体の中学校の美術部、また県外からもお客様がお越しになり、村は賑わいを見せました。普段はなかなか入ることができない工房や、体験できないワークショップに、参加者からは大変好評をいただきました。

スウェーデンとの交流の分野では、探検の殿堂で9月19日（月）、23日（金）に当市の小中学生とウメオ市の中学生とが、植物をテーマにオンラインによる国際交流を行いました。



ウメオの中学校とのオンライン交流の様子

両国の学生が、それぞれフィールドワークを重ね、お互いに成果を発表し質問をしあいました。探検の殿堂の職員による市内フィールドワークでは、子どもたちが当市の植物について学びました。当市は日本の中で最も歴史ある「政所茶」の生産地であり、子ども達にとっては自分達の郷土の文化を学ぶ機会にもなっています。スウェーデン側は、ウメオ中学校のカタリーナ・ステンマン先生が指導されました。子ども達が自分でテーマを選んでいたことに、スウェーデンの教育との違いを感じ衝撃を受けました。オンラインでの国際交流だからこそできた取り組みでした。この取り組みについては、川崎一彦先生に大変ご尽力いただき、企画段階から当日の通訳まで様々な面で助けていただきました。

また、9月23日には大人向けにも「スロイド教育」の講演会が行われました。探検の殿堂会場、またオンラインとともに県外からの参加者があり、他国の教育を現地の教師から話が聞ける貴重な機会になりました。スウェーデンの教育と、日本の教育との違いに驚きを感じ、参加者からは学びが大きい会だったとの声を数多くいただきました。オンラインでの国際交流に手ごたえを感じ、これから国際交流の一つ形として、今後も行っていきたいと思っています。

10月1日（土）から10月30日（月）にかけては、湖東図書館で「スウェーデン児童文学パネル展」を開催しました。スウェーデン大使館から、リンドグレーンの「長くつしたのピッピ」をはじめとしたスウェーデンの児童文学に関するパネルを借用し展示しました。当企画展では、レトビックからの寄贈品の展示や、滋賀県内中の図書館から集めたスウェーデンの児童文学書を展示しました。意外にも、子どもだけではなく大人からも好評で、何度も訪れる方もいました。

10月9日（日）には、ヘムスロイド村で、「杜の音楽会」として、スウェーデンの農村音楽の演奏会を開催しました。スウェーデンの民族楽器のニッケルハルバ奏者の本田倫子さん達による演奏は、参加者から大変好評で、次年度以降も開催して欲しいという声も聞こえてきました。初の試みでしたが、今後もスウェーデン文化に関するイベント開催への手ごたえを感じています。

音楽会当日はゲストに、スウェーデン大使館のレーナ・フォン・シドー公使参事官をお招きしました。公使のス

ピーチは、本市とスウェーデンのつながりが再び強くなることを実感するもので、関係者をはじめとして音楽会参加者からは交流再活性化への意欲が高まるものでした。また、公使には、「スウェーデン児童文学パネル展」、クレフィール湖東のログハウス、当市蛭谷町にある木地師資料館にもご訪問をいただき、当市の歴史ある木工文化をご覧いただきました。



杜の音楽会の様子

その他の事業には、ヘムスロイド村作家の学校訪問や市民向けワークショップなど、地域と作家や村をつなげる事業を行っています。ヘムスロイド村の魅力を子どもの時から知ってもらい、地域の歴史を知る機会、郷土愛の醸成と情操教育につなげています。コロナ禍で一時止まっていた、ヘムスロイド村の活動を再開することで、地域とヘムスロイド村のつながりが少しずつ戻ってきました。学校訪問では、ヘムスロイド村作家によるワークショップと、私からヘムスロイド村とスウェーデン交流の歴史の出前授業を行いました。子ども達の中には、スウェーデンという国を初めて知る子や、いずれはスウェーデンに行ってみたいという感想を寄せてくれる子もいました。ヘムスロイド村をきっかけに、レトビック市と姉妹都市の交流再活性化への機運が高まってきた。

今回の事業は、「ヘムスロイド村開村30周年記念事業」として、今年度限りの事業となっていますが、先のことを見据えて、ヘムスロイド村を通した地域活性化と国際交流の活性化を狙って行っています。スウェーデンという全く異国の文化ではありますが、当市と似ている部分もあり、文化的な価値観が共有できる面もあると思っています。そうしたところから、両国の交流が、当市の文化をさらに発展させ、地域の活性化につながると思っています。

今後の展望

今後の展望については、レトビック市をはじめとしたスウェーデンとの国際交流を発展させたいと思っています。コロナ禍で海外渡航が難しくなっていましたが、ようやく規制が緩和されてきました。ウクライナ情勢や、30年ぶりの円安、燃料費の高騰など、こちらからの渡航や交流については、まだまだハードルは高いですが、い

ずれはお互いの往来ができるようになると思っています。

また、オンラインでの交流をさらに進めたいと思っています。ヘムスロイド村開村 30 周年記念事業で、オンラインの国際交流に挑戦したことをきっかけに、さらに充実した交流に取り組めたらと思っています。本年度スウェーデン交流センターの高松さんにご紹介いただき、レトビック市の音楽学校とつながることができました。残念ながら、まだ事業実施ができていませんが、次年度以降当市の学校と、レトビック市の音楽学校とで事業ができればと思っています。

さらに市民レベルの交流に加えて、経渉交流も行うことが必要ではないかと考えています。湖東地区には、ヘムスロイド村前に湖東工業団地があり、また当支所内には東近江市商工会の本部があるなど、市内の各種事業者が集まるハブ的機能を有します。その地の利を生かして、スウェーデン関連の企業への当市の進出、逆に当市企業がスウェーデンに進出するなど、両国の経渉交流ができればと思っています。

おわりに

さて、今回「国際交流から地方創生へ」というタイトルを付けました、一見矛盾する内容に思えるかもしれません。というのも、地方創生とは、東京圏への人口一極集中から、地方への人の流れをつくることです。他の地方都市と同じように当市の湖東地区では人口が減少しています。まち・ひと・しごと創生法の第一条には、「国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創生を一体的に推進すること」（一部抜粋）と記されています。

全国各地で地方創生の交付金を活用して、様々な事業

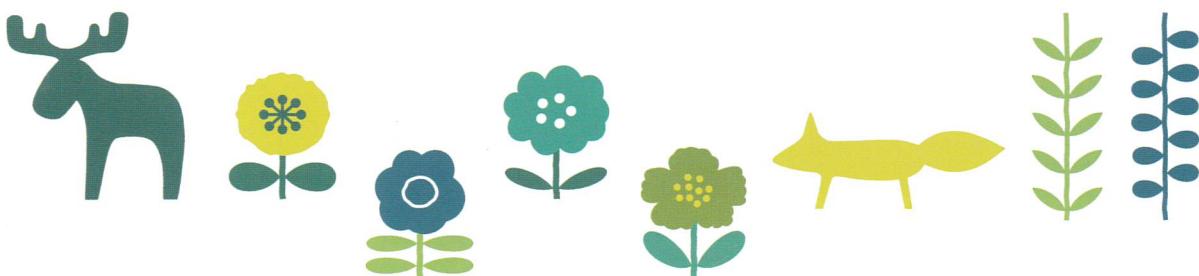
が取り組まれてきました。みなさんの町にも、交付金を利用した拠点整備で、ハード（建物）ができたかもしれません、東京から地方に人が移ってきたと感じる方は多くはないでしょう。魅力あるまちにするためには、もちろんハード整備が欠かせません。しかし、ソフトの面に魅力を感じてもらわなければ、差別化はできないと感じています。国際交流という一見地方から人が出てしまうかもしれないことに力を入れることが、他にはない魅力ある地域づくりにつながると思っています。

私はヘムスロイド村の活性化がレトビック市やスウェーデンとの国際交流を再活性化させ、魅力ある地域につながり、他地域から当市への人の流れを生み出すと考えています。一見他国とのやりとりに力を入れて、地域をないがしろにしているように見えますが、このことがかえって他にはない地域の魅力を高め、国が目指していた地方創生ができるのではないかと思っています。国際交流を通して、住民一人一人が夢や希望を持てる地域となり、また地域独自の産業の創出、国際人の輩出など、住みたい地域、働きたい地域、子育したい地域を目指していきます。

たけうち きよおみ
竹内 清臣

ご寄稿者紹介…

大阪外国語大学（現：大阪大学外国语学部）卒業後、民間企業、公益法人に勤め、2014年に東近江市役所入庁。福祉、税務の業務に従事した後、2018年より湖東支所で勤務。地域振興、福祉の業務に携わる。プライベートでは、(特非)日本ファシリテーション協会、東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会に属し、ファシリテーションを活用した地域づくりに取り組む。新十津川町の開拓に貢献し、金滴酒造の名づけ親になった宇治川伊三郎を、母方の高祖父に持つ。



発見力
つながりをみつける力

[業務内容]
美術、書道作品集・記念誌・町史・チラシ・ハガキ・パンフレット・自費出版・インターネット事業・各種イベント 他

NAKANISHI PRINTING CO.,LTD.
中西印刷株式会社

〒007-0823 札幌市東区東雁来3条1丁目1番34号
TEL (011) 781-7501 FAX (011) 781-7516
<http://www.nakanishi-printing.co.jp/>

気分は北欧生活。

スウェーデンヒルズ Since 1984
Sweden Hills

札幌郊外の丘に北欧の街並。

スウェーデンヒルズ。

大都市近郊でありながら自然に囲まれた美しい街並。

「人が人らしく、自然と調和して豊かに暮らす」を理想に、

スウェーデンの住環境を再現した住宅地として誕生以来30年。

美しい風景の中で約300家族のくらしが息づいています。

0120-242-522 [スウェーデンヒルズ]

スウェーデンヒルズ ウエスト地区 レクサンド公園

賛助会員入会のお願い

一般財団法人スウェーデン交流センターは、ガラス作品や木工作品の制作などを通じて多方面での交流を行うとともに、夏至祭、ルシア祭、各種展覧会など、年間を通して様々な催しを行い、スウェーデン文化の紹介を積極的に行なっています。

特に「世界一奥いスウェーデンの発酵にしん」スールストロミングの試食会を毎年開催し、多くの皆様からご好評を頂いております。

これらの催しは、当センターの趣旨にご賛同くださる皆様が賛助会員としてその運営基盤をささえてくださっており、毎回の催し等は、広報誌「ヨルク」にも掲載し、賛助会員の皆様には、年4回ご自宅まで郵送、いち早く情報提供しています。ぜひ賛助会員にご入会下さいますよう、お願ひいたします。

賛助個人会員 年会費 一口 5,000円

賛助法人会員 年会費 一口 20,000円

あとがき

●今号表紙と11ページでご紹介しているスウェーデンのインクルーシブな楽器「ブンネ楽器」ですが、SCFでは毎月第4土曜日に体験していただける「ブンネサークル」を開催しています。また、ご来館いただいた際に気軽に体験していただけるようにしていきたいと思っています。ぜひ一度ブンネ楽器を弾いてみてくださいね！

●昨年11月上旬に、ヘーグベリ大使がスウェーデン交流センターにお越しになりました。大使が就任されて3年、新型コロナウイルスのこともあり、なかなかお越しいただけなかったのですが、ようやく大使にSCFとスウェーデンヒルズをご覧いただくことができました。今後も大使館のお力を借りながら、日本とスウェーデンの交流につながる活動に取り組んでいきたいと思います。